

たけた

市議会だより

NO.70

令和5年11月1日発行



赤ちゃんのおててみたいだね。

写真提供者

衛藤 みなみ

竹田市在住

Profile

4人の子育て中。ママ目線で子どものいつもの表情を切り取り、「何年先も今を思い出せる家族のための写真」をコンセプトに家族写真を撮影している。

◆活動はInstagramで発信中。UtaUta (ゆたゆた) utauta_0202



- 一般質問 2~7
- 予算特別委員会 7
- 第3回定例会の議決結果 8~9

議会ホームページ

竹田市議会



https://www.city.taketa.oita.jp/shisei_machizukuri/taketashigikai/



一般質問

市政を問う



9月6日・7日、9人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。
なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。

第2次竹田市総合計画について

問 基本計画を達成するための実施計画とはどのようなものか。

総合政策課長 実施計画は基本計画に基づいて具体的な事業計画やスケジュールを立てる計画である。また、各種個別計画を施策体系ごとに紐づけして、当初予算編成時に事業評価を行いながら施策の達成状況を明確にして進捗管理を行い、効率的な予算配分や事業コストの適正化を図っていく。

JRデザインেশョンキャンペーン(JRDDC)について

問 来年4月から福岡県、大分県で開催されるキャンペーンについて大分県の取組状況は。

商工観光課長 地元自治体、観光関係団体や事業者等と、JRグループが協力して実施する国内最大規模の観光キャンペーンである。大分県もコロナ禍で大きな影響を受けた観光



阿南 智博

産業の復活に向け観光資源の磨き上げを行い、全国からの誘客を目指していく。5月には全国宣伝販売促進会議や旅行会社を対象に体験型見学会も行われた。

問 竹田市の取組は。

商工観光課長 竹田市もJRDDCを大きなチャンスと捉え、各種団体等の代表者で構成する実行委員会を設立した。また、ワーキング部会が事業の企画や検討を行っており、官民挙げて取り組む。これまでに総合観光パンフレット「竹田Style」の電子化や二次元コード表の作成、お花マップ、温泉、グルメなどの各種マップもコード表に掲載し、「竹田市の観光まるごと早わかりガイド」で紹介している。また本番に向けJR豊後竹田駅の発車メロディーを瀧廉太郎作曲の「花」に変更する計画である。

問 おもてなしの機運醸成は。

商工観光課長 現在、大分県のおもてなし宣言団体を受付中で、竹田市も5団体が登録している。引き続き推進する。また、今後竹田市で予定されている各種イベントなどを活用して周知を図り機運醸成に努める。

このほか中学校のグラウンド整備や屋外トイレ整備について質問した。



阿部 雅彦

観光振興について

問 第2次竹田市総合計画に基づいた竹田市観光振興計画の策定や阿蘇市との連携を強化してはどうか。

市長 他の自治体の観光振興計画について調査研究をする。阿蘇市との連携は強化していくが、阿蘇くじゅう観光圏整備計画の中にある阿蘇市と阿蘇郡の5市町村及び高千穂町の取組を進める。

スポーツ振興について

問 スポーツ関連施設の整備についてはどのように考えているのか。

生涯学習課長 公共施設整備計画や都市公園施設長寿命化計画に搭載しながら、必要とされる整備を進める。

問 スポーツツーリズムの推進についてはどのように取り組むのか。

商工観光課長 交流人口の増加によ

る地域の活性化や経済効果を目指して、生涯学習課と連携を強める。

教育環境整備について

問 教育予算要望にどう対処しているのか。

教育総務課長 学校現場から出された要望については、緊急度や重要度を精査して可能な限り対処する。

問 特別支援教育支援員やスクールサポートスタッフの配置を拡充すべきではないか。

学校教育課長 児童生徒の困りや学校の支援体制に寄り添い、必要な所に配置する。

問 教育予算を確保し、教育環境整備を充実させるべきではないか。

教育長 教育委員会としては、ハード面の整備やスクールサポートスタッフ等の人員配置も重要であると考えているが、文部科学省の推奨する教職員の長時間労働是正のための勤務時間インターバル制度を実現させるためにも、学校現場への人員配置が不可欠である。

竹田市における教育予算確保については、できる限りの努力をする。

市有財産の有効活用について

問 玉来ダム建設事務所の再利用は、理事 市庁舎として活用し、来年度から建設課が入る予定。

問 旧南山荘の活用の方向性は。

財政課長 解体除却のうえ、更地としての有効活用を検討していく。

農業政策について

問 竹田市の新規就農者、親元就農者の過去3年間の定着率と離農者の件数は。

農政課長 新規就農者79名のうち、自営就農者49名、雇用就農者30名。離農者は49名中1名。定着率98%。

問 離農した原因とその後の対応は。

農政課長 体調不良や人間関係がうまくいかなかったケースが原因。離農後も竹田市内に居住し、再び農業を志す方にはしっかりと支援をする。

問 県営大谷ダムの改修について市の見解は。

農林整備課長 現在、大分県ととも

に改修に向けた検討を行っている。

問 大蘇ダム、大谷ダムを利用した今後の農業振興策は。

農政課長 令和5年度から、農業普及指導員の配置を行い、担い手育成のための指導や相談、畑かんを活用した露地野菜の推進など、大分県や農協、土地改良区など関係機関と連携を密にして事業推進をする。

観光政策について

問 貸切バス利用促進事業の実績と行き先に係る補助額の見直しは。

総合政策課長 9月現在で33件の申し込みがあり、好評である。事業の見直しは現時点では考えていない。

問 観光拠点としての物産館の設置は。

商工観光課長 城下町の一か所でお土産を購入するのではなく、まち歩きをしながら各店舗めぐり、回遊性を持たせたまちづくりを進めていきたい。

雇用対策と後継者支援について

問 竹田市の人材確保の現状と課題、対策は。

商工観光課長 現状は求人倍率も高

く、人手不足が続いている。対策として企業紹介ガイドブックを作成し、市内の中学生や高校生に配布している。毎年、高校生向けの企業説明会を実施。10月には、地域雇用活性化推進事業が開始。このような取組を通じ、若者から高齢者まで幅広い労働力及び人材の確保に繋がっていきたい。



佐藤 市蔵

スポーツツーリズムについて

問 スポーツツーリズムは、スポーツをして楽しむ人、応援や観戦で人の移動だけでなく、周辺地域の飲食、宿泊等で地域経済の活性化に繋がる。スポーツツーリズムをどのように捉えているのか。

生涯学習課長 スポーツと観光事業により地域の活性化をめざすスポーツツーリズムの拡大や地域経済の波及効果、更には地域の知名度アップを図るうえでも重要と考える。

問 野球やソフトボール等の屋外ス

ポーツは雨が降れば行う事が難しい。スポーツツーリズムを考えるうえで、全天候型施設を検討してはどうか。

生涯学習課長 竹田市公共施設等総合管理計画では長寿命化、修繕、規模縮小と示されている。既存施設の長寿命化、補修を優先的に実施する。現時点での全天候型運動場の建設は厳しい。

問 建設となれば、用地、建設費等で多額の経費が必要だが、直入の力ワサキ製作所跡を利用してはどうか。建物面積は1400㎡で鉄骨造である。駐車場にも余裕がある。大分市から20分の場所にあり、近くに温泉や宿泊施設もある。土地建物所有者の川崎重工業と建設に向けて交渉する考えはあるか。

生涯学習課長 建物の耐震性や改修費用も必要となる。建物を取得すれば、維持管理費もかかるので、現時点では建物を市が取得する事は考えていない。

問 以前、直入総合グラウンドに人工芝のサッカー場2面建設の構想があったが、この構想はなくなつた。再度、直入にサッカー場建設を考えたか。周辺観光や宿泊施設などの

経済効果だけを考えても大きな意義があると思うが考えは。

市長 市の財政事情から費用対効果や財源確保の見直しなどを考慮し、まずは既存の施設の活用や改修する事を優先したい。サッカー場を新設するのではなく、既存の施設の改修等で活用することが市民にとって望ましい。

このほかに、熱中症対策及び、ふるさと納税について質問をした。



賀籠六めぐみ

白丹保育所の運営終了について

問 廃止に関するこれまでの話し合いの経過は。

社会福祉課長 約2年前から説明会と意見交換会を重ね、今年2月に保護者会の理解を得た。持続的・安定的な運営を考えていく。

問 白丹保育所の跡地利用について社会福祉課長 白丹保育所保護者会から白丹保育所園舎での運営の要望

があった。今年9月に白丹・久住両保護者会長から久住保育所園舎での運営をお願いする申し入れがあった。跡地利用については慎重に検討していく。

問 白丹保育所跡地の施設管理に係る予算措置は。

社会福祉課長 白丹保育所保護者会からも要望されている。検討していく。

問 久住地域の幼児教育保育施設のビジョンは。

市長 廃止についてご理解いただいた白丹保育所保護者会の皆さんに感謝をしている。出生者数減少や施設の老朽化を考慮し、運営費・施設の建て替えを考えたも民設民営にしていきたい。出生数を考えてもこども園への移行は難しく、これまでどおりの保育所設置で考えている。久住地域の出生者数は10人程度で推移している。働く保護者にはなくてはならない施設。引き続き知恵を絞っていく。

久住高原ホテルについて

問 施設に対する市の見解は。
市長 竹田市の北の玄関口として観

光客を多く受け入れており、旧国民
 宿舍の良き伝統を引き継ぎ、地元
 に愛される、なくてはならない施設。
 これからも指定管理者と連携し、安
 定的な運営を目指す。

問 現指定管理者から老朽化に伴う
 問題点と大規模改修の要望はあるか。
久住支所長 施設の状況を勘案し順
 次行う。

問 指定管理期間終了後の施設管理
 のあり方について。

久住支所長 引き続き指定管理での
 運営を考えている。久住高原荘指定
 管理者選定委員会を本年9月中に設
 置し、募集詳細を決める。

問 長期的ビジョンはどう考えてい
 るか。

支所長 社会、経済情勢の変化が目
 まぐるしいため、短期の基盤を築い
 たうえで、将来的な運営形態を模索
 していくことが最良と考える。



山村 英治

竹田市の子育て施策について

問 8月4日の議員全員協議会で、
 こども診療所の再開にあたり、医師
 との話し合いに仲介者を探すことを
 議員から執行部に申し入れた。当初
 の診療所開設にお世話をいただき、
 診療所医師の恩師である、現在は厚
 労省管轄の独立行政法人国立病院機
 構におられる先生から、7月28日、
 市長室に第三者として仲介に入って
 もよいと連絡があったと聞いている
 が、その申し入れを断った理由は。
 また、こども診療所で働いたこと
 ある課長2人が、市長に面談を求め
 て断られたことも聞いている。その
 理由は何か。

市長 医師の恩師の方からご連絡を
 いただいたことは承知している。担
 当課と協議をした結果、まずは執行
 部で取り組むということでお断りを
 した。また、職員からは会ってほし
 い、相談したいことがあるというこ
 とだったが、時間がとれず実現でき
 なかった。

問 第2回定例会一般質問で、今後
 のこども診療所体制について、医療
 と医業の改善、職員の働き方改革の
 取組、ゆとりがあつて、こどもの命
 をあずかっている職場であると職員

が誇ることでできる診療所にしてい
 くことと答弁があつたが、今でもそう考
 えているか。

副市長 医療体制の充実が急務だと
 考えているが、医療現場との協議が
 できないため、現在、前に進めない
 というところをご理解いただきたい。

問 市の職員が、診療所で仕事を続
 けることができなかつたことについ
 て、医師の態度に問題がある。この
 問題が解決しなければ次の段階に進
 めないということか。

副市長 お互いに意見交換をしなが
 ら問題解決を図るなかで、新たな方
 向性を確認しながら進めていく。前
 段が片付かないと進まないというこ
 とではなく、一緒に考えていく。



上島 弘二

「岡城跡」の再開発について

問 竹田市観光の目玉である「岡
 指定史跡岡城跡」を訪れる観光客の
 概数は。

商工観光課長 岡城跡の観覧者数に

ついては平成11年がピークで14万7
 036人。平成17年までは毎年10万
 人以上であったが、熊本地震のため
 5万3千人台に落ち込んだ。しかし
 NHK最強の城スペシャルの「城跡
 部門」で岡城跡が全国1位となり、
 7万4千人台までに回復。その後、
 新型コロナの影響により落ち込んだ
 が、昨年は5万4604人と復調し
 ている。

問 第2回定例会一般質問において、
 市の観光浮揚の絶対条件は岡城跡南
 側全景が展望できるようにすること
 が一番ではないかと述べた。岡城跡
 南側の樹木伐採の進捗状況は。

まちづくり文化財課長 市としても
 岡城跡南側斜面は岡城観光の重要な
 スポットと考えており、南側の伐採
 は特に力を入れている。現在地権者
 から8割以上の同意を得ており、予
 算の範囲内で順次、継続して伐採を
 実施する。

人権教育指導者養成講座における
 フィールドワーク研修について

問 竹田市が実施しているフィール
 ドワーク研修について、対象地域は
 どこで、今まで何回実施しているか。

また、実施の趣旨、目的は。

人権・部落差別解消推進課長 竹田

市は年6回の人権教育推進指導者養成講座を行い、そのうち1回をフィールドワーク研修に充てている。場所は豊後大野市。目的は人権教育や地域社会における人権・部落差別に関する啓発の推進に資するためである。

問 この研修は部落差別解消推進法の附帯決議に反すると思うが、見解は。

人権・部落差別解消推進課長 部落差別の歴史を正しく知り、理解する上で非常に有意義である。



渡辺 克己

ウエイクケーブルパーク施設について

問 平成27年7月にオープンした施設の設立時の事業目的と年間集客見込み数は。

直入支所長 目的は親水性の向上による豊かな人間形成の推進、青少年

健全育成と地域資源の有効活用による地域振興である。年間の集客見込数は約8,000人であった。

問 利用者数と営業実績は。

直入支所長 利用者は平成27年度1,661人、28年度2,420人、29年度997人、30年度1,510人、元年度1,528人で2年度以降は営業をしていない。毎年概ね500万円程度の赤字であった。

問 世界各国の多くの競技人口により、外国人競技者への参加にも期待を寄せていたが、実際はどうであったか。

直入支所長 施設利用実績や各種大会の参加者名簿等では確認できていない。

問 施設の指定管理期間がこの施設に限り10年と長いがその理由は。

直入支所長 原則5年以内であるが、当該施設については専門性、特殊性があることから長期的に効率の良い運営ができる期間としたものである。

問 現在事業を休止しているが、指定管理事業者とどのような話し合いをしたのか。

直入支所長 令和2年4月、指定管理者より新型コロナウイルス感染症

の感染拡大で休業（期間未定）の申し入れがあった。同年7月の豪雨により、ダム湖が被災したため、継続して休業している。

問 当該施設を撤去した場合の経費は。

副市長 見積もりでは約5,000万円である。

問 長湯ダム所有者である県から、市所有の施設であることが使用許可の条件とされている。そのため親会社（A社）、指定管理者である（B社）、それぞれが建設した施設を市は無償譲渡を受け市所有とした。2通の無償譲渡契約書は、すべて業者による撤去と明記されているが。

副市長 無償譲渡契約が解除されたときは、指定管理者に施設を返還することになっている。



鷺司 英彰

ウエイクケーブルパーク施設について

問 財産寄贈に対する竹田市の受け

里山保全百年計画
第24回たけた竹灯籠

竹 楽

2023年

11月17日~19日(金~日)

16時~21時30分

(日曜日のみ21時まで)

入れ条件は。

直入支所長 公有財産規則第10条の通り、寄付の申し出を受けた際、その都度、協議し受納の判断をする。判断基準は、将来的に使用の見込みがあるものに限られている。

副市長 指定管理契約と財産の無償譲渡契約は別のものである。ただ、無償譲渡契約書に財産の返還や撤去が記載されているため、併せた協議が必要ではないかと考えている。

無償譲渡契約が解除された場合も含めた契約の内容は。
直入支所長 A社（仮称）から主たる構造物であるマストとオペレーターシヨンを、B社（仮称）からマストの土台となるアンカーやジャンプ台等障害物が譲渡されている。市は、施設の状態をB社に報告することになっており、B社はその報告等を基に事業の継続について判断をする。継続できないとなれば、竹田市は譲渡された施設すべてをB社に返還し、B社が施設を撤去することになっている。

当該施設に対する今後の対応は。

市長 平成27年に

新たなスポーツ体験交流施設としてオープンした。しかし、利用者数は伸び悩み、市民の新たなスポーツとして定着しなかった。東京オリンピックの正式競技として採用されなかった。さらに、コロナ禍や自然災害による長期の休業もあり、大変厳しい運営状況が続いていた。現時点で、他の民間会社から事業引継ぎの申し出はない。また、第三セクターにより市が直接関わることも、事業費が市民の負担になることから厳しい。施設の撤去を基本方針として、関係者と協議する。

第3回定例会 予算特別委員会

令和5年度 一般会計予算 **可決**

10億 5,865万 3千円

(総額：217億7,520万7千円)



令和5年第3回定例会・予算特別委員会が9月12日に開催され、付託された一般会計補正予算を慎重審査した結果、賛成多数で可決されました。

主な新規事業、重点事業

【歳出】

◆総務費

令和4年度決算剰余金処理に伴う財政調整基金積立金
4億1,000万円

◆民生費

令和4年度の事業費確定に伴う生活保護費等国・県負担金等返納金
2億2,416万7千円
社会福祉施設等物価高騰対策緊急支援事業
1,323万6千円

竹田市子育て世帯支援給付金事業
4,439万1千円

◆衛生費

令和4年度の事業費確定に伴う保健衛生費等国・県負担金等返納金
1,059万1千円
新型コロナウイルスワクチン個別接種促進事業
880万円

◆農林水産業費

大谷ダム浚渫工事県負担金
695万4千円

◆土木費

道路等維持補修事業
4,257万円

市営急傾斜地崩壊対策事業
3,000万円

◆教育費

岡城跡方跡トイレ改修事業
978万2千円

◆災害復旧費

農林水産施設災害復旧費
1億1,716万円
公共土木施設災害復旧費
3,650万円

【歳入】

市税
9,066万8千円

地方特例交付金
73万7千円

地方交付税
1億1,483万1千円

分担金及び負担金
2,569万2千円

国庫支出金
8,511万5千円

県支出金
8,792万3千円

財産収入
929万1千円

寄附金
100万円

基金繰入金
△1億8,702万円

繰越金
8億63万3千円

諸収入
378万3千円

市債
2,600万円

令和5年 第3回定例会

令和5年9月1日～26日
議案等の議決結果

議
決
結
果

条 例 案		
議案番号	件 名	結果
議案第 100 号	竹田市空家対策協議会条例の一部改正について	可 決
議案第 101 号	竹田市火災予防条例の一部改正について	可 決
議案第 102 号	竹田市立保育所条例の一部改正について	可 決
予 算 案		
議案番号	件 名	結果
議案第 95 号	令和5年度竹田市一般会計補正予算（第3号）について	可 決
議案第 96 号	令和5年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	可 決
議案第 97 号	令和5年度竹田市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	可 決
議案第 98 号	令和5年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）について	可 決
議案第 99 号	令和5年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について	可 決
決 算 認 定 案		
議案番号	件 名	結果
認定第 1 号	令和4年度竹田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 2 号	令和4年度竹田市立こども診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 3 号	令和4年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 4 号	令和4年度竹田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 5 号	令和4年度竹田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 6 号	令和4年度竹田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 7 号	令和4年度竹田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 8 号	令和4年度竹田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 9 号	令和4年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第10号	令和4年度竹田市久住高原荘特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第11号	令和4年度竹田市水道事業会計決算の認定について	認 定

一 般 案		
議案番号	件 名	結果
議案第 103 号	財産の無償譲渡について	可 決
諮 問 案		
議案番号	件 名	結果
諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案の者適任
請 願 ・ 意 見 書 案		
議案番号	件 名	結果
請願第 5 号	地方財政の充実・強化に関する意見書の提出についての請願	採 択
請願第 6 号	インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める請願	不採択
意見書案第3号	地方財政の充実・強化に関する意見書	可 決

■賛否一覧表 令和5年第3回定例会(令和5年9月1日～26日)

※賛成・反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案番号・件名	議員名(議席番号順)													審議結果		
	賀籠六めぐみ	池見 傑	熊野 忠政	工藤 忠孝	阿南 智博	後藤 建一	本郷 敦子	佐藤 市蔵	上島 弘二	鷲司 英彰	山村 英治	阿部 雅彦	渡辺 克己		本田 忠	佐藤 美樹
請願第 6 号	インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める請願													○	-	不採択

表の見方…○：賛成、-：除斥、欠席などにより表決に加わっていない。※議長は表決に参加しないため、表決結果は「-」。

議 会 人権研修会



竹田市議会では、毎年議員を対象とした「人権研修会」を開催しています。

今年は、9月1日(金)に竹田市教育委員会社会教育指導員の足立直隆さん、原田英夫さんを講師としてお招きし、「インターネット上の人権侵害」、「ハラスメントのない組織を目指して」と題して講演を行っていただきました。足立講師からはSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)は情報収集や発信、コミュニティのツールとして大きな利点がある一方、プライバシーの侵

害や誹謗中傷等が刑事事件に発達するケースも多々あるため、人権感覚を磨くためには常日頃の意識づけが重要であることを学びました。

また、原田講師からはマイクロアグレッション(意図せず誰か傷つけてしまう言動)について学び、職場や家庭等、様々な場所でおこるハラスメントについて知見を広げ、人権の意義や人権尊重の必要性を正しく理解し行動することの大切さを学び、人権を再認識する充実した研修となりました。

県民スポーツ大会報告

議員ソフトボール

9月2日(土)開催の第76回大分県民スポーツ大会、議員ソフトボール競技に出場しました。

雨により、2回の練習で、そのうち1回は市役所課長会の皆様のご協力で練習試合を行って頂き試合に臨みました。

別府市野口原軟式野球場において、中津市議会と対戦し、6対16で負けました。戦況としましては、1回の表に5点を先取し、「今日は大差で勝つぞ」と思っていたら裏に13点を取られました。エラーはいくつもありましたが、相手の若さと打力に負けた試合でした。

来年こそは練習回数を増やし試合に臨みたいと思います。試合を終えてケガ人もなくベンチ入りの全選手が出場できてホッとしています。

監督 佐藤 市蔵



議員陸上

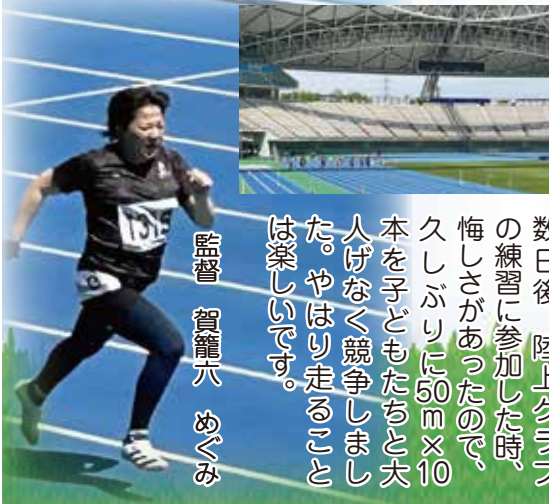
9月10日(日)第76回大分県民スポーツ大会、議員陸上競技に参加しました。今年度のリレーチームは無念の欠場でした。

私は、昨年に引き続き100mに出場しました。小学生の頃から県内一周駅伝の監督をしていた父や長距離走をしていた叔父たちの影響もあり、この歳になるまで速い遅いに関係なく走ってきましたので、走ることはあまり苦にはなりません。

今年も議員・教育委員の皆さんと走ることを楽しもうと思いい、昨年と同じようなメンバーだろうと思っていました。今年度の選挙で他市のメンバーがガラッと入れ替わっており、若いメンバーが多いことに面くらいながら、スタートしました。最下位ではありましたが、走った後の爽快感はやはり格別です。昨年は16秒台でしたが、17秒かかってしまいました。

数日後、陸上クラブの練習に参加した時、悔しさがあつたので、久しぶりに50m×10本を子どもたちと大人げなく競争しました。やはり走ることは楽しいです。

監督 賀籠 六 めぐみ



「初心忘るべからず」
室町時代の猿楽師、世阿弥のことばである。

人生において、新たな事を始める度に初心を抱いてきた。考えると様々な場面で「こうしたい、あなりたい」と願い、努力した事が今の自分を形づくってきたのだと思う。後には「時々の初心忘るべからず」、「最後の初心忘るべからず」と続く。己はいまだ未熟であることに気づき、その時々、そして老後に向けて常に新たなことに努力する大切さを心に刻んでおきたい。

編集委員 池見 傑